

「無事故を目指して」

2016/02/18
北海道トラック協会

1. キーワード

「気づく」・「確認運転」(2度視る)

◆一時停止は、二度止まりましょう◆

2. 何故、事故が起きるのか

●確認していないから

●認知していない

●しっかり視ていない

運転のメカニズム： 認知・判断・操作

3. 目的・目標をしっかり持つ

●基本は、運輸安全マネジメント P D C A サイクル

4. 考え方:「管理者が変われば、乗務員も変わっていく」

●「真」に変わることが重要。

5. 事故はヒューマンエラー

●うっかりミス

●意図的(わざと)な不安全行動

6. 同じ立ち位置 (上から目線は逆効果)

●みんなで決めて、みんなで実行

●気づく、連帯感 →乗務員の心に響く

●結果、「信頼関係」が生まれる

7. 目標達成のために「面談」を実施する

●カウンセリングを応用

●「面談」の姿勢は怒らない、叱らない

●原因など、一緒に考える 「なぜなぜ分析」

●「面談」の方法は傾聴・共感・肯定(否定しない)

目標管理・・・(例) 信号を守る、左右確認する。

九州大学教授『一時停止は二度停止、車間距離は4秒間』で、7割の事故削減出来る

重要なのは、どんな思いでハンドルを握っているのか、

辛くはないのか、

事故惹起者(起こした人)には、その時何を考えていたのか

乗務員の心を聴く

どうすれば、良かったのか。

面談の中で、「気づき」を見つけていく

8. 運輸安全マネジメントを実施した会社

50%事故経費を削減している。

9. 管理者の言動

毎日、無事故で帰社した乗務員へ、乗務後点呼の時に、思いっきり「褒める」こと

『気をつけて』は、自分のため?

抽象的な表現よりも、具体的で判りやすい表現で説明する。

10. 事故防止策

①今日の目標シール

②無事故の乗務員に聴く

何に気をつけて運転しているのか、その内容を事故惹起者へ伝える

③優良な乗務員は、自分の運転について、今日の運転はどうであったか

「振り返り」をしている。

11. プロ意識

プロドライバーとしての意識をした運転

デイ・ライト、「安全意識の心」に、スイッチON!